

5Gを活用した遠隔診療に関する実証試験

開催日 平成31年1月21日（月）

場所 和歌山県立医科大学 地域医療支援センター



次世代の移動通信システム（5G）で映像を伝送する試験を本学で行いました。

5Gは、現行の方式に比べて大容量のデータを高速に通信でき、通信のタイムラグが少ない次世代の移動通信システムであり、平成32年（2020年）の実用化を目指して研究開発が進められています。

本学では、平成26年7月から遠隔医療支援システム（インターネット回線を利用したテレビ会議システム）の端末を設置した医療機関との間で「遠隔外来」を実施しており、平成29年6月に株式会社NTTドコモと和歌山県及び本学で締結した協定に基づき、5G実証試験にも協力しています。

昨年に引き続き行った今回の実証試験は、日高川町国保川上診療所と本学の間（約40km）で実施しました。訪問診療のシミュレーションとして川上診療所を患者宅に見立て、へき地の往診に活用できるかの試験を行いました。また、遠隔教育として内視鏡機器を使い、医大の指導医がへき地の若手医師に指導できるかの実証試験も行いました。

県内では往復6時間かかる地域もあり、指導、講義等に生かすことができることを期待する声が上がっています。



<訪問診療のシミュレーションの様子>



<遠隔教育のシミュレーションの様子>